



あなたを待っている子どもたちのために

第1回 「社会人として、先生として～プレゼミナール開講にあたって～」

令和4年11月16日(水)発行 仙台市教育委員会 教育センター 若手教員支援室

プレゼミナールがスタートしました！！

令和4年11月12日(土)仙台市教育センターにて、令和4年度仙台市教員プレゼミナールの第1回を開催しました。

仙台市教育委員会としては初めての取組です。このプレゼミナールは、4月に初めて教壇に立つ教員(令和5年度採用候補者名簿登載者や臨時的任用教育職員登録予定・希望者等)が、年度始めに必要な初歩的な事柄を学ぶことにより、仙台市の教員としての学校生活への見通しを持つことができ、着任までの不安が軽減され、教職生活への早期適応につながることを目的としています。これにより、学校全体の安定した教育活動が保たれ、児童生徒が新年度新たな環境で生き生きと学校生活を送ることができるととらえています。3月までに8回開催されますが、自分の必要に応じて参加する回を選択します。11月12日現在、小学校67名、中学校・高等学校26名、養護教諭4名、計97名の参加希望がありました。

第1回のテーマは、「社会人として、先生として～プレゼミ開講にあたって～」です。参加者は、遠隔地在住等によるオンライン参加者を含め、49名でした。

1 「プレゼミナール開講にあたって」

開講にあたり、仙台市教育センター所長より挨拶があり、本年度のプレゼミナールのタイトル「あなたを待っている子どもたちのために」に込めた思い等を受講生に伝えました。



2 「社会人としての常識・マナー等」



社会人は、立場の異なる様々な人と関わるため、広く社会で受け入れられている言動をとる必要があります。その言動が社会人としての「マナー・常識」です。その根底にある「相手意識」を持って協働することが信頼関係の構築につながっていきます。今回は、職員室での来客対応や電話対応について、指導主事の実演を基に話し合ったことを受講生同士で行っていくことで、学びを深めていきました。



3 「教職の理解及び教員の職務、服務」

主に地方公務員法に定められた職務上・身分上の義務についての学びでした。特に「信用失墜行為の禁止」については、年度初めの個人情報の取り扱いの実例を基に気をつけなければならない点をしっかり確認しました。

最後に、正式採用・任用時に提出する「宣誓書」に署名する意味についてしっかり認識することができました。



4 「同期の仲間との情報交換①」

「先生になることへの期待と不安」「4月までにこれだけはしておきたいこと」等について、グループに分かれて情報交換を行いました。緊張感から解放され、和やかな雰囲気の中で話も進みました。



〈受講者の声〉

- 今日は、第一回目のプレゼミナールだったので、とても緊張しました。講義は、実践の場が設けられているため、より自分ごととして考えることができました。また、先生方からの自分の体験談なども交えながらお話しされていて、とても興味深かったです。グループセッションでは、知らない人ばかりでとても緊張しましたが、後半に時間が余ってみなさんと色々なお話しをすることができたので良かったです。とても充実したプレゼミナールになったと思います。
- 所長先生のお話の中で、「なぜ、先生になろうと思ったのか。」「4月から何を伝えたいのか。」という話があり、改めて考える機会となった。「相手意識」ということが何回か出てきた。果たして、自分はこれまで相手意識を大切にしてきたのだろうかと思った。「相手意識」というのを今後、十分意識しておくようにする。職務上の義務と身分上の義務があるが、これはいつでも言えるようにしておきたい。特に今後は情報の取り扱いに気を付けたい。また、人に対してよい励みになる言葉を磨くようにする。情報交換ではいろいろな考え方を知ることができた。自分より若い人が多いが、その方々からも多く学べるように心を開いていきたい。
- オンライン参加でしたが、たびたび聞こえる参加者の皆さんの声で、現地参加したかったなあ…と感じていたところです。講義の中では社会人として、とくに学校現場に出る身として改めて身に付けておかなければいけないマナーを学ぶことができました。グループワークの中では、他の同期の方々と話すことで、教員になるという期待感が高まりました。グループの中で教えていただいた本、意見交流して出てきた知識を付けるということや、お世話になった方に会いに行くということをぜひこの先取り組んで行きたいと感じました。
- 初心にかえり、学ばさせていただきました。次年度採用予定の方と話ができて、とても参考になり、次年度採用試験に向けて気持ちを新たにできたことも、とても良かったです。残り7回もしっかりと学び生かしていければと思います。
- 社会人になる上で必要なことや、教職や教員の心構えについて学ぶことができました。特に、社会人のマナーに関して、実際の場面に即して考えることができたため、4月に向けての不安が少し少なくなりました。また、同じく4月から先生になる仲間たちと悩みややっておきたいことを共有することができ、4月に向けて楽しみな気持ちが大きくなりました。ありがとうございました。
- 今回のゼミナールに参加して、礼儀・マナーについて不安な部分であったり、教師として気を付けなければならないこと（義務）について再確認できたのでよかったです。特に「失敗を恐れず、最初にたくさん失敗してできるようになる」という意識をもつことが、現場に出てから大事だという言葉がとても印象に残りました。

プレゼミナールは、「ペーパーレス」です。受講者は、情報端末（PC等）持参で参加します。持参が難しい方には、貸し出しもしております。



私自身、新卒ということで知らないことが多く不安なのですが、現場に出てから積極的にいろんな先生方から学んでいく、場面場面できちんと反省・改善していく姿勢を持ち続けたいと思いました。

プレゼミナールは、3月まで残り7回あります。いつでも参加申込はできます。関心を持たれた方はお申し込みください。第2回「一人一人を大切にする指導のために」は、11月26日（土）開催です。